

宮私幼だより

第152号 令和2年10月20日



塩釜ひまわり幼稚園



巻頭言

理事長 鎌田文恵

いよいよ2学期が始まりました。

今年の夏は、感染症対策がとれないためプールや海水浴場はオープンすることもなく、夏祭りなどのイベントもすべて中止となりました。例年ならば少なからず家族で夏の風物詩を経験していたことが、コロナ禍でできなくなり、子どもたちは、夏休みをどのように過ごしていたのだろうかと思うと心配になります。

何時収束するか見当もつかない新型コロナウイルス感染症が再び猛威をふるうことも予想される2学期です。各園の園長先生をはじめ諸先生方は、子どもたちの成長のためには欠かせない秋の行事、運動会や遠足、お遊戯会などの感染症対策を講じながらいかに実施していくか、お悩みのことと拝察します。

さて、昨今の幼児教育を取り巻く環境は、新制度の認定こども園への移行、保育士不足、さらには「WITH コロナ」新しい生活様式の中で日々の保育をいかに展開するか等々、様々な課題が山積しております。そのような状況下ではありますが、永年にわたり宮城県私立幼稚園連合会の理事長として今日まで牽引し、指導してこられた村山十五先生が急遽退任することになったことは会員皆様もすでにご存じのことと思います。ここに会員を代表し衷心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

後任には不肖私を選出いただき過日着任しました。その重責に日々戸惑いながら執務を行っているところですが、この難局を乗り越えていくよう精一杯努力していく所存です。甚だ浅学非才でありますので、会員皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。 合掌

 一般社団法人 宮城県私立幼稚園連合会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6-12 佐正第二ビル6F 編集・発行人 鎌田文恵

Close Up 理事会

令和2年度宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【令和2年度第1回理事会（緊急）】（宮私幼会議室）

日時 令和2年4月30日（木）午後2時～

- 議事 (1)新型コロナウイルス感染拡大防止の為に臨時休園について
- (2)その他

【令和2年度第2回理事会】（宮私幼会議室）

日時 令和2年5月15日（金）午後2時～

- 議事 (1)「鶴ヶ谷保育園」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について（承認）
- (2)「ろりぼっふ出花園」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込について（承認）
- (3)令和2年度第1回定時総会の議案について
 - 第1号議案 平成31年（令和元年）度事業報告について
 - 第2号議案 平成31年（令和元年）度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
 - 第3号議案 役員改選について→5月13日に推薦委員会※各候補者ごとの決議方法について
- (4)報告事項について
 - ①令和2年度東北地区設置者・園長研修会[宮城大会]について
 - 4月28日の東北地区会会議に諮ったところ、来年度に延期。宮城県が当番県として令和3年6月25日（金）に開催する。
 - ②令和2年度年間計画の変更（総会議案p36-37）
 - ③実技講習会費と地区研修費について
- (5)第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

【令和2年度第3回理事会】（仙台市戦災復興記念館5階 小会議室）

日時 令和2年5月29日（金）午後2時30分～

- 議事 (1)令和2年度第1回定時総会で新役員が選任され、承認されたので、定款第23条2項による令和2年度・令和3年度の理事長、副理事長、常任理事（委員長）の選定
- (2)委員会の担当について

【令和2年度第4回理事会】（宮私幼会議室）

日時 令和2年6月19日（金）午後2時～

- 議事 (1)令和2年度の新体制について
 - ①役員分担の確認【理事長・副理事長・常任理事・委員会・地区会】
 - ②顧問の委嘱について…村山十五前理事長（定款第30条 理事会の決議を経て委嘱した）
 - ③研究委員会協力委員の委嘱について
- (2)令和2年度教育振興大会・第49回宮私幼PTA研修大会日程について
コロナのことや議会開催中でも有り、最終的に中止決定。
- (3)養成校との懇談会について
- (4)地区別設置者・園長会議について
- (5)ネットヨタ大阪（株）の寄付金に係わる団体の推薦について
- (6)総務・給付委員会の「幼稚園実態調査」アンケートについて
- (7)研究委員会から これからの研修会について（今年度はオンラインのみ）
- (8)研究委員会の研修会のアンケート結果について
- (9)地区運営費・地区研修費・実技講習会費について
- (10)その他
 - ①教員免許状更新講習の会場変更について（福祉大東口→フォレスト仙台）
 - ②5月29日（金）第3回理事会で配布した保護者からのクレームの件
 - ③6月4日（木）富谷市健康推進課からのご願いについて【アレルギー】
 - ④宮私幼会費について→令和3年度から2歳児からも頂く【6/3総務・給付委員会】

【令和2年度第5回理事会】（宮私幼会議室）

日時 令和2年7月30日（木）午後2時～

- 議事 (1)地区別設置者・園長会議について
 - ア. 日程と出席者の確認
 - イ. 協議事項の確認
 - ①令和3年度初任給並びに保育料について②処遇改善について
 - ③令和3年度園児募集について（願書配布10月1日以降、受付11月1日以降。ホームページ等で予告可能）④養成校との懇談会の報告について
 - ⑤その他 非常勤のコロナ禍による休業補償について
- (2)4月～7月迄の事業報告について
 - ①常任理事会②総務・給付委員会（委員会毎月開催、白書について）
 - ③経営委員会④研究委員会（○全員インターネット配信による講習に切り替え○仙私幼と共催による新任研中止→パンフレット作成（新任教員に配布）⑤広報委員会⑥特別委員会 免許状更新講習について（コロナ禍により特例で全員リモートによる講習会を開催）
- (3)その他
 - a. 全日私幼連からの「特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実に関する調査」への協力について
 - 宮城県への割当 7園
 - b. 令和2年6月9日に各園に送付した「子ども・子育て支援新制度にかかる質問」の回答について
 - c. Zoom会議について 理事会などのあり方
- その他

事務局だより

令和2年度 上半期（4月～9月）

○関係機関団体

- 7/30 県次世代育成支援対策地域協議会及び県子ども・子育て会議（県行政庁舎）
- 8/1 「学ぶ土台づくり」研修会（県行政庁舎）
- 9/23 幼保小接続期カリキュラム連絡会議（県行政庁舎）

○全日私幼連

- 4/28 東北地区会監査会（岩手）
- 6/26 第1回東北地区会（青森）
- 8/1～2 免許状更新講習<必修・選択必修>〔リモート講習〕
- 8/22 免許状更新講習<選択>〔リモート講習〕
- 8/23 免許状更新講習<選択>〔リモート講習〕

○宮私幼のあゆみ

- 4/3 常任理事会
- 4/6 研究委員会
- 4/23 総務・給付委員会
- 4/30 緊急理事会
- 5/13 常任理事会と総務・給付委員会合同会議、推薦委員会
- 5/14 監査会
- 5/15 理事会
- 5/18 研究委員会
- 5/29 定時総会、理事会（戦災復興記念館）
- 6/3 総務・給付委員会
- 6/8 研究委員会
- 6/19 総務・給付委員会、理事会
- 6/25 経営委員会、研究委員会、地区研修担当者連絡会（東京エレクトロンホール宮城）
- 7/2 研究委員会
- 7/9 養成校との懇談会（仙台ガーデンパレス）
- 7/13 常任理事会と特別委員会合同会議
- 7/16 総務・給付委員会、研究委員会
- 7/22 経営委員会
- 7/27 経営委員会
- 7/30 理事会
- 8/6 総務・給付委員会
- 〃 園内研修の進め方研修会〔オンライン研修〕
- 8/11 新任教員研修会〔オンライン研修〕
- 8/12 仙台地区設置者・園長会議（旭ヶ丘市民センター）
- 8/19 気仙沼・登米地区&大崎地区（合同）設置者・園長会議（栗原市：エポカ21）
- 8/20 塩釜地区設置者・園長会議（多賀城市：ホテルキャスプルプラザ多賀城）
- 8/21 名取・岩沼地区&仙南地区（合同）設置者・園長会議（岩沼市：岩沼南こぼと幼稚園）
- 8/24 石巻地区設置者・園長会議（石巻市：ひばり幼稚園）
- 8/27 研究委員会
- 9/10 総務・給付委員会
- 9/17 研究委員会（Zoom会議）
- 9/24 特別委員会（Zoom会議）
- 9/29 広報委員会

○慶弔

- 9/29 菊田義治氏（しらとり幼稚園 前園長）ご逝去



辞任のあいさつ



前理事長 村山 十 五

盛夏の候、先生方にはウイルス対策の夏休み中となりました。まだまだ油断ができません。

運動会も静かな運動会になり、子どもたちも嬉しさ半分ではないかと心配しております。

20年くらい前になりますが、動画による会議の提案がありました。今思えばもう少し早く研究すべきでした。若い先生方に期待いたします。

さて、突然ではありますが、今期をもちまして宮私幼理事長職を辞任させていただきました。20年間の長い間本当にありがとうございました。思い起こせば、災害の多い20年だったと思います。大震災の時は東京におり、帰れなくなったことが今でも思い出されます。

後任の鎌田文恵先生にはお忙しいところ、曲げてお願いを申し上げたところであります。

コロナの影響で、まだ発表できませんが、何らかの形でこれからも幼児教育にかかわってまいりますのでご指導のほどをお願い申し上げます。

(令和2年8月)

地区別設置者・園長会議

新型コロナの感染者数もやや落ち着きを見せてきた夏休み、県内を仙台、塩釜、名取・岩沼と仙南、大崎と気仙沼・登米、石巻の5会場に分かれ、加盟園の8割以上の設置者園長の方々にお集まりいただき、意見交換の貴重な場となりました。今年の主な討議の内容としては3点ございました。

まず1点、昨年10月よりスタートした幼児教育の無償化後の問題点であります。多かった意見として、「コロナで休園となる中、保育料を返金することが無かったことが無償化になった最大の幸運だった」等の話がありました。問題点としては、園が保護者と市町村の手続きの橋渡しをする必要があるため、事務作業が増大し従来の体制では対処しきれず、パート職員を採用しなければならなくなった、との意見です。これについては、宮私幼も後押ししながら、市町村に対し人件費の増額や無償化の手続きの簡素化を求めていくべきだと考えます。

2点目として、新型コロナへの対応があります。公立学校であれば教育長からの上意下達の命令に従うだけですが、私学の長はそうはいきません。休園の期間、通園バス

の運行可否、お泊り会はどうするか、運動会、おゆうぎ会は？…この一年は通常通りではなく、その都度立ち止まって考えざるを得ません。今回の設置者・園長会議では、お互いの園の状況を話し合い、情報を交換できる場となったことと思います。

そして3点目、職員の採用についての問題です。7月に行われた宮私幼理事と養成校の先生方による懇談会の詳細は園長会議に説明させていただきました。要約しますと、学生の保育士志望は年々増えてきている。その中で幼稚園教諭を志す学生は、初任給の額はもちろんのこと、その園の就労環境や職員同士の仲の良さ、働きやすさなど、細かくチェックし検討した後、受験する園を決めているとのこと。養成校の先生からは「人気の幼稚園に志望者が集中する傾向がある」とおっしゃっている方もおりました。

我々は私立学校ですので、保護者の方に自園を選択していただくことが最重要ではありますが、それと同等に学生に自園を就職希望に選んでいただかなければなりません。その点を強く皆様に訴えて設置者・園長会議のご報告とさせていただきます。(経営委員長 末屋 保広)

令和2年度 宮私幼第1回総会

日時：令和2年5月29日(金) 会場：仙台市戦災復興記念館

司会者の「新型コロナウイルス禍での総会で、時間の短縮と座席の間隔をあける等のご協力をお願いします」との言葉で、開会しました。

総会に先立ち、今年度、新会員となられた旭ヶ丘学園鶴ヶ谷保育園と、ろりぽっぷ学園ろりぽっぷ出花園が紹介されました。

開会のことば（鎌田文恵副理事長）：新型コロナ感染防止対策で大変な時に集まっていたいただき、感謝いたします。夏休みはいつから？行事は？…と悩んでいるのではないのでしょうか。全園同じとはいかないが、同じ方向を見ていきましょう。



村山十五理事長挨拶：多くの会員の出席に感謝いたします。仙台市内では、6月1日に入園式を行う幼稚園が多いようです。子どもたちの心を汲みとり、教職員全員が親身になって対応してください。マスクや手洗いの励行で楽しい園生活が送れるようにしましょう。

来賓祝辞（佐々木幸士宮私幼PTA会長）：2月末の安倍総理大臣よりの臨時休校の要請に答えて、3月から臨時休園となり、園児の思い出となる卒園式も行えなかった園もあるかと思えます。緊急事態宣言が解除されても園児を取り巻く環境は厳しく、子どもたちの命を守っていくための感染防止対策に尽力されている先生方にPTAとして感謝しております。



議事

議長として、名取・岩沼地区ふじ幼稚園の鈴木信子先生と泉地区泉の杜幼稚園の菊池正隆先生が選任され、議事録署名人として泉地区根白石幼稚園の庄司昭博先生と塩釜地区塩釜ひまわり幼稚園江湖貴恵先生が選任されました。議事は議案書に基づいて進行され、第1号議案平成31年(令和元年)度事業報告、第2号議案平成31年(令和元年)度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について審議、承認されました。第3号議案役員改選は、出席者(委任状を含む)の投票により議案通り承認され、新役員(理事)により別室で協議の結果、理事長・副理事長・各役員が選定さ



れ、総会において異議なく承認されました。新理事長となられた鎌田文恵先生より、「村山理事長のお父上の時代からずっと役員を務めさせていただき、一番長いので理事長ということになりました。若いお二人に副理事長になっていただいたので、リリーフとして務めさせていただきたいと思っております。ただ、今は非常に難しい時代です。園児数減少の中で、予算を執行するにあたって、また、いろいろな行事を行うにあたって、大変だと思います。そのような中で、会員の皆さんのますますのご協力をお願いして、この難局を乗り越えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします」



この後、吉岡総務・給付委員長より、「村山理事長には、全日本私立幼稚園連合会の情報をいち早くいただく等、大きな貢献をしていただきました。平成6年から理事、平成12年から理事長と長年にわたり、宮私幼のためにお働きいただきありがとうございました。この場で、表彰状をお渡しさせていただきます」との挨拶がありました。鎌田新理事長より、「これからは、全日本の情報提供やさまざまな相談等をいただこうと思っておりますので、皆様のご承認を得て当会の顧問にご就任いただきたいと思います」とのお言葉があり、村山理事長に表彰状と花束が贈呈されました。

報告事項(各委員会より)

- (1)旅費規程について：免許状更新講習に係る講師謝金が、機構と相違した金額なので、合わせることにしました。
- (2)東北地区設置者・園長研修会〔宮城大会〕について：令和3年6月25日(金)に延期しました。

閉会のことば(根来興宣副理事長)：長時間にわたっての審議、お疲れ様でした。20年間、村山理事長が築いてこられた歴史を糧に新しい時代を鎌田新理事長と共に一步一步進めていきます。コロナ禍についても、各園の思いと理念で情報を共有し、発信しつつ、共に手を取り合い、共に歩みを進めていければと思います。



(小川せつ子)

養成校との懇談会

日時：令和2年7月9日(木) 13:30~15:00

会場：仙台ガーデンパレス2階「鳳凰の間」

挨拶

宮私幼鎌田文恵理事長

今年は、新型コロナウイルス感染防止のため卒園式や入園式が出来なかったり、臨時休園措置で保育も4月に開始できず、6月に再開という状況で、例年とは違った取り組みがなされています。養成校も同じ悩みを抱えていると思われます。双方で考えを出し合い、良い方策を見出していきたい。

聖和学園短期大学中島恵准教授

本学では新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態宣言を受け、授業を開始したのは5月になってからです。教育実習は9~12月まで入っており、短縮も含めてこれまでにない対応をしております。就職活動について学生自身も不安になっています。本日の懇談会で、いろいろなお話を伺い、指導に活かしていきたい。



参加者自己紹介

議題

①宮私幼の現況について

吉岡弘宗総務・給付委員長から（ようちえん白書⑧を基に宮私幼の現況を報告）

- ・勤務年数別退職者数・勤務3年以内で130名以上おり、非常に残念。
- ・私立幼稚園に対する現況調査の結果を見ると宮城県は低いが、園としては苦しいながらも待遇改善の努力を毎年続けている。
- ・宮私幼加盟園の新制度への移行率は、全体で34.14%、認定こども園や施設型給付幼稚園への移行が増えている。
- ・幼児教育の無償化及び新型コロナウイルスの対応状況の結果報告。

庄司昭博副理事長より、学生用に幼稚園と教師の指導について、学生に身近に感じてもらうことを目的に、自園の一日の様子を動画で上映。



②養成校の現況について（フリートーク）

出席養成校14校が順に授業、教育実習、就職活動、新型コロナウイルス感染拡大による就職への影響等について報告。

- ・大半の養成校が新型コロナウイルス感染拡大予防のため、しばらく授業が出来ない期間があった。教育実習は予定を遅らせ、就職活動もなかなか出来ない状況で、悩み、不安を感じている学生が多い。
- ・5月からリモート授業を開始し、6月に入って少人数による対面授業を行っている。東北福祉大学は8月末日までリモート授業を行う。それまで実技等が出来ず、何かしらの方策を考えなければならない。
- ・実習先もなかなか決まらず、教育実習を受け入れてもらえるのか

学生は不安に思っている。

- ・新型コロナウイルス感染防止から幼稚園訪問を控えている学生がいる。幼稚園側にはそろそろ就職説明会を開催していただけるとありがたいし、学生も参加していくと思う。

宮私幼からの質問（佐藤洋理事）

- ・新型コロナウイルス感染防止に向け学生にどのような指導をしているか。
- ・園として採用試験を行うとき、何時なら適切か。

養成校からの返答

- ・養成校としてはガイドラインを作成し、それに従って指導している。
- ・10月に教育実習を行う学生がおり、それ以後でないと就職試験の対応が難しい。

宮私幼からの質問（吉岡弘宗理事）

- ・最近派遣会社に登録している学生が増えているが、知っているか。
- ・宮私幼は、教員免許状更新講習を協力実施していることを学生に是非伝えて欲しい。

養成校からの返答

- ・2、3の養成校は知っている。

宮私幼からの質問（小野寺靖子理事）

学生が望んでいる幼稚園について、養成校からアドバイスをいただきたい。

宮私幼からの質問（清野英俊理事）

ようちえん白書⑧のp51・3-3教員不足が約40%であることを指摘、この現況を養成校としてどう考えるか。毎年教育実習を受け入れているが、求人募集をかけても応募はなし。一方、養成校の先生に声をかけ、学生に話をしてもらったら応募があったという事例もある。養成校の先生方からも是非お声がけをお願いしたい。幼稚園は養成校と共に教員を育てるという思いを強く持っている。幼稚園のどこに問題があり、どのような幼稚園になればよいのか是非教えて欲しい。

閉会の挨拶（末屋保広経営委員長）

幼稚園の教員不足は5年ほど前から起きている。少子化の時代に学生に幼稚園に就職してもらうにはどうすれば良いか、宮私幼として力を入れている部分である。私立幼稚園としては幼児教育をしっかりやっているという自負は持っている。教員が集まらず、幼稚園がなくなるとは社会的にも困ることであろう。どうすれば学生が来てくれるか、養成校からも是非に教えていただきたい。



（記録：伊藤誠理事）

新園長紹介

園長就任にあたり

聖ドミニコ学院幼稚園
園長 小笠原 朋之



学院の理事長と中学高校の校長を兼務し、今年度から森本幸子前園長先生の後任として園長をお引き受けいたしました。私自身30有余年の間、公立高校の教育現場で働いてきました。平成29年4月から聖ドミニコ学院でお世話になり、4年目を迎えました。幼児教育に携わるのは初めてです。園児たちとともに「あかるく つよく うれしいところ」で園生活を過ごすことができるよう、毎朝イエス様とマリア様にお祈りし、一日が始まります。先生方も、この状況の中で「何ができるか」を常に考え、知恵を出し合い、力を合わせて園児たち一人ひとりの援助に一生懸命取り組んでいます。その姿勢には、保護者の願いにも応えようとする先生方の念(おも)いがこめられています。新米園長の私が幼稚園の園児たち、その保護者の方々、そして先生方と過ごしてきたこの数か月をとおして、最初に学んだことは、「幼児教育はすべての教育の原点」だということです。諸先輩方のご指導を仰ぎながら、私がモットーとしている「あせらず やすまず あきらめず」の精神を大切に、幼稚園教育に貢献できるよう日々取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

新型コロナウイルスの脅威は増すばかりです。一人一人が心がけるべきことを自覚すれば、みんなの大切な命が守られます。本学院が創立以来大切に育んできた「真理」(ヴェリタス)のもと、保護者の皆さまとともに園児たちを見守り、園児たちの輝く笑顔がたくさん咲きますように、神様の慈しみに感謝し、祈りをささげてまいります。

幼稚園という働きを賜って

愛耕幼稚園
園長 坂上 靖恵



今年度4月に、学校法人愛耕学園 愛耕幼稚園園長に就任いたしました。

愛耕幼稚園は日本バプテスト気仙沼教会に併設され、キリスト教保育を建学の精神として104年の歩みを重ねて参りました。大正5年から、戦争や震災等幾多の困難も

含め、様々な時間を綿々と幼児教育に尽力して参りました先達に思いを馳せますと、身が引き締まる思いです。ご承知の通り現在は、少子化に対応した子育て支援政策や生活・社会の変化によって、幼児教育の提供のなされ方は益々変化をする勢いであります。しかし、いつの時でも大切なのは目の前にいる子ども達であり、変化の中で何が子ども達にとって有益で、また不利益になるのか、今後さらに吟味が必要になるかと思われまます。愛耕幼稚園には引き継がれてきた教育理念の言葉があります。「おのおの自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。」(ピリピ2:4)という聖書の言葉です。この、自分も他者も大切にできる人に成長してほしいという願いは、これから生きてゆく子ども達にとりまして学ぶべき大切な事であると思われまます。子ども達の成長に携われる仕事を賜り、喜びとともに、身に余る仕事に奮闘の毎日です。一緒に奮闘している教職員、祈りでお支え下さる教会の方達と共に、神様の喜ばれる幼稚園を目指して参りたいと願っております。どうぞ皆様のご指導ご鞭撻を賜りたく宜しく願い申し上げます。

遊びがいっぱい輝くひとみ

聖和幼稚園
園長 大友 まゆみ



四月より、学校法人聖和学園聖和幼稚園の園長を拝命いたしました大友まゆみと申します。

今年は新型コロナウイルス感染症に伴い、子ども達と教職員の安全を確保しながらの幼稚園の運営に日々戸惑いと不安ばかりで、園長職の重責を感じる毎日です。

しかし、コロナ禍の中でも、本園のモットーでもあります「遊びがいっぱい輝くひとみ」「楽しい幼稚園、夢いっぱいの幼稚園、明日もいきたい幼稚園」を心がけ、子ども達には、たくさんの遊びやいろいろな体験を通し、輝くひとみが溢れ、心が動くような保育を提供していきたいと思っております。

そして何より先生方が、新しい生活様式を考えながら、日々、保育活動を進め、子ども達の安全のために衛生管理に心がけてくれることに感謝するばかりです。

コロナの収束が見えない中ではありますが、子ども達が毎日笑顔で安心して過ごすことが出来ることを願い、教職

員一丸となって、「遊びがいっぱい輝くひとみ」の幼稚園で有り続けたいと思います。

まだまだ若輩ものですので、多くの園長先生方から、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



てん おや こ
貂の母仔

はせくらまち杜のこども園

園長 村松 健



山裾の苦屋での仙人暮らし。教職を離れてのわずか二・三年の貴重な体験の一コマです。標高千五百メートルの山腹に、私の粗末な山小屋がありました。山菜とキノコを漬け込み、濃い目の焼酎を片手に過ごした山暮らしは、まさに至福の日々でした。

雑木林が紅・黄の霜葉で埋め尽くされる折、貂(テン)の傍でまだヨチヨチ歩きの仔を見つけました。この冬を仔は過ごせるのだろうか？そんな思いで山小屋に泊まる日は、必ず貂のテリトリーに出かけ、赤松の大樹の陰から見守ることを日課としました。やがて厳寒の訪れです。背丈を超

す積雪の中、母仔の姿はすっかり見かけなくなりました。

木々の芽が雑木の梢から芽吹く皐月の朝、テリトリーに母仔が姿を現します。仔は秋から二回りも大きく成長しておりました。おそらく寒風吹き荒ぶ厳冬期、母親の決死の庇護が容易に想像できます。やがて爽やかな初秋の午後、仲良しの母仔の様子が変です。母親は子に向かって激しく威嚇するのです。その行為は夕方まで続きます。翌日の早朝、寝ぼけ眼で木陰から見つめる私の前で、仔は随分母親から離れて歩いています。時折駆け寄る仔に母は激しく噛みつき遠ざけます。捕ってきた餌を与えた母の愛情は欠片もありません。五日後の事でした。仔は母親から離れ、違った小路をトボトボと歩き始めました。動物の親離れの瞬間です。肌で分かれを感じた母は藪の中を必死にかき分け、仔の姿を遠くから見守りながら追いかけます。やがて小高い峠に仔がさしかかると、親は決心したように振り向きもせずにもとの住み処に戻って行きます。しぐさは悲しげで、そっと草むらに首を差し込んで別れを悲しんでいるようです。この感動の親仔の情が、毎朝園児を迎える私の中に去来します。

幼稚園訪問記

幼な子とともに

学校法人向日葵学園

塩釜ひまわり幼稚園

〒985-0087 塩竈市字伊保石 234

園児数248名 教職員33名

(満2・3歳児10名、3歳児80名、4歳児76名、5歳児82名)

(令和2年10月13日時点)

塩釜ひまわり幼稚園 を訪問しました !!

今回は、令和2年8月3日(月)に塩釜ひまわり幼稚園を訪問しました。

園舎に大きく描かれた“ひまわり”が、園庭で元気に遊ぶ園児達を見守っている光景を微笑ましく感じながら園舎に足を踏み



入れました。江湖文枝理事長先生(写真左)、江湖貴恵園長先生(同右)が穏やかな笑顔で迎え入れてくださいました。

1.概要

塩釜ひまわり幼稚園は昭和54年(1979年)開園、昨年40周年を迎えました。広い敷地内に、平成17年に開園した塩釜市認可「塩釜ひまわり保育園」と昨年度開園の「小規模保育てでいべあ〜ちいさなひまわり〜」を併設しております。また、卒園児対象の「ひまわり学童保育」を行っており、0歳児から小学校6年生までの幅広い年齢層が在籍している学園です。



保育園(右)と学童保育棟(左)

2. 特色

東北の幼稚園では初となるISO9001:2000(国際品質規格)を平成14年8月20日に取得しています。

保育の特色は、体育・アトリエ(陶芸を含む)・パソコン・英語を年齢に応じて取り入れ、専門講師が幼児の多面的な可能性を見だし、体力・想像力・創造性・言葉の発達などをバランス良く促せるように関わっています。



3. 教育理念と教育・保育目標

目指す幼児像・元気で、明るく

健康で、自立心に富む子ども、個性的で、創造性豊かな子どもに育つよう個々の幼児の特性を踏まえ、豊かな環境からより多くの経験を促す教育を実践します。

実践目標

1. 遊べる子
2. 自分のことは自分でする子
3. 考え、工夫する子

4. 給食

「温かいものは温かく、冷たいものは冷たい、“家庭的な食事”」をモットーに栄養のバランスを考え、自園調理で週5日間提供しております。旬や地域の新鮮な食材、行事や季節食を大切にしております。



5. 保育時間と預かり保育

基本時間

8:40～13:30

預かり保育

13:30～18:30



6. バス送迎

今年度は園児の8割が利用しており、4台のバスで9コース運行しています。

7. 未就園児親子教室

月に2回、幼稚園の雰囲気味わいながらお友達と一緒に遊べる環境を作り、また子育ての親子の情報交換や親子の交流の場として楽しい時間が過ごせるように開設しています。

8. 特に力を入れている教育

平成17年度文部科学省のモデル事業として助成され、積極的に身体を動かす楽しさやチャレンジする気持ち良さを味わい自ら「体力」や「健康」を意識できる力を養っています。また、異年齢保育や小・中学生や高校生との交流、地域の方々との触れあいも重視し、人との関わりを通して育まれる社会性や人格形成の基礎を培えるようにします。



9. 新型コロナウイルスへの対応

基本的には、塩釜市教育委員会の判断に委ねています。登園の際の留意点などは、保護者に十分に理解して協力いただけるように、園長が丁寧に説明しております。その効果もあり、発熱していても登園する子はいなくなり、登園後発熱してのお迎えもスムーズになりました。園児が健康に園生活を送れるよう、環境を考慮して適切な対応を心がけています。

行事につきましては、運動会は学年ごと、発表会は12月から2月に延期して行うなどコロナの現状をよく注視しながら柔軟に対応したいと思っていますところ です。

(片岡大助・鎌田俊昭)

